



資源循環型農業の推進

山間農業地域

いけだのさと
池田の郷 水と土を守る会（福井県池田町）

- 本地域は、福井県の東南部に位置する池田町の水田地帯であり、町全域で多面的機能支払に取り組む。
- 本制度により、生ゴミ等の有機性廃棄物（資源）を回収。回収された生ゴミ等は、堆肥化され地域で活用。
- 住民の資源循環に関する意識が高まり、地域内の資源循環量や化学肥料等を可能な限り使わない農業の取組面積が拡大。

【地区概要】

- ・取組面積 355ha（田 355ha）
- ・資源量 開水路156.1km、
パイプライン14.6km、
農道50.5km
- ・主な構成員 自治会、NPO法人 等
- ・交付金 約31百万円（H29）

農地維持支払
資源向上支払（共同、長寿命化）

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、福井県の東南部に位置する水田地帯であり、町全域を活動の対象としている。
- 町では、地域の農業や自然環境を守りながら、地域のコミュニティの力を活かしたまちづくりと経済活性化を推進するため、化学肥料や農薬を可能な限り使わない農業の実践等、様々な施策を推進。
- これらの推進には、行政と住民との一体的な運動の展開が必要とされていた。



取組内容

- 本活動組織は、町内の生ゴミ等の有機性廃棄物（資源）を回収。
- 回収された生ゴミ等は、堆肥化され地域で活用されることによって土づくりを行い、化学肥料等を可能な限り使わない農業の実践を後押し。



構成員であるNPO法人
によって資源を回収

生ゴミ等を活用した
堆肥づくり



取組の効果

- 生ゴミ回収の活動を継続的に取り組むことで、住民の資源循環に関する意識が高まり、資源循環量が増大。

食品資源（生ゴミ）回収量
H21 80トﾝ → H26 89トﾝ
生ゴミの回収による肥料の生産量
H21 186トﾝ → H26 185トﾝ

- 生ゴミから製造した堆肥を有効活用することで、化学肥料等を可能な限り使わない農業の取組面積が拡大。

特別栽培米の取組面積が大幅増加
H18 90ha → H29 190ha

- ブランド化により、町直営店舗で有利販売。



町独自の認証米制度の
現地審査会の様子



直売所の様子